

御機嫌いと麗しく

三笠宮殿下御歸還

けふ勿來驛より御發

市内住吉本町の御宿舎に一夜をお過ごし遊ばれた三笠宮殿下は、御發定通り九日午前八時五十分、官民列隊奉送にて御宿舎御發、沿道警備、入山等の厳戒状況御覽の如く、春風を帯びて一路勿來町に成らせられ、横山町以下地元多数官民の奉迎を受けて勿來驛に御登車。松嶺々たる處、往好むと思はれた、潮響き春の海の大觀を御覽せられ、午前十一時十九分勿來驛發列にて御機嫌麗しく御歸還された。

落城御説明に

御耳を傾けらる

廣田教諭一代の面目

官殿下に隨話申上げた聲中である、三都本炭同業組合廣田徳行氏の「戊辰戦争で當面の品不足緩和の争の平城落城」に關する御ため管下二千六百名の製炭説明は昨日午後三時十分業者を動員、本炭報の實より臨場風物見聞をあげる、指導者としての廣田氏の面目に於て、目下極力これに當つて居る。

生産増加と

製炭の改善

本炭組合でチラス生産不足に伴つて地方の木炭不足の一兩年相續強腰炭取七(七)君と判つた。

値がよい石城駒

平均では縣下第二位

縣下の春駒セリは既報日割によつて澤村村中寺から上野と順次進められ、買入も遠く廣島方面から來て賑ひを呈してゐるが馬質の向上から値は例年に比してグンと上り。

英靈懷しの原隊へ

十五日、慰靈祭執行

上海戦線の華と傲つた小泉中佐以下四百七十三柱の英靈に原隊で發表これが慰靈祭。原隊は上海派遣軍最高指揮官松井石根大將率隊の下に十五日原隊に於て執行され、慰靈祭は、

回春園増築

けふ落成式發行。けふ落成式發行。けふ落成式發行。

第二次三十名採用

満蒙開拓義勇軍。満蒙開拓義勇軍。

大敷網の準備開始

來月中旬投網開始。來月中旬投網開始。

旅行修學

學生生活の楽しい。學生生活の楽しい。

踊り電節

三分咲きの松。三分咲きの松。

魁文堂

新刊川永井謙吉。新刊川永井謙吉。

花瓶の櫻を眺めて

松ヶ岡の昨今を想ふ。松ヶ岡の昨今を想ふ。

猪狩政友君

元平議員。元平議員。

中陣を聴く

(126) 承前。城内には行くことが出来ず残念。

汽車は走るよ

平商は來月二日出發。平商は來月二日出發。

海濱に安息所

入山保險組合で。入山保險組合で。

汽車は走るよ

平商は來月二日出發。平商は來月二日出發。

海濱に安息所

入山保險組合で。入山保險組合で。

踊り電節

三分咲きの松。三分咲きの松。

旅行修學

學生生活の楽しい。學生生活の楽しい。

大敷網の準備開始

來月中旬投網開始。來月中旬投網開始。

回春園増築

けふ落成式發行。けふ落成式發行。

第二次三十名採用

満蒙開拓義勇軍。満蒙開拓義勇軍。

落城御説明に

御耳を傾けらる。御耳を傾けらる。

生産増加と

製炭の改善。製炭の改善。

値がよい石城駒

平均では縣下第二位。平均では縣下第二位。

中陣を聴く

(126) 承前。城内には行くことが出来ず残念。

汽車は走るよ

平商は來月二日出發。平商は來月二日出發。

海濱に安息所

入山保險組合で。入山保險組合で。

電話變更御通知

従前の一七七番を一日より、

友部株式会社

電話小名第一〇三

お花見には是非

とときあ

四倉貸家

姓名在社

おみやげには

見不知羊羹(柿羊羹)

潮の華

電話六六八

病性陽

皮膚科

安齋科醫院

電話四五番

簡易金融

無盡蔵

安齋科醫院

電話四五番

簡易金融

無盡蔵

安齋科醫院

電話四五番

簡易金融

無盡蔵